



平成 24 年 1 月 27 日

各 位

会 社 名 サイオステクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜多 伸夫
(コード番号 3744 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員(財務経理、経営企画担当) 小林 徳太郎
電 話 0 3 - 6 8 6 0 - 5 1 0 5

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 23 年 1 月 31 日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。また、平成 23 年 12 月期の連結決算及び個別決算において、下記のとおり特別損失を計上することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,100	△250	△250	△270	△3,114.04
今回修正予想 (B)	5,110	△155	△161	△247	△2,855.79
増減額 (B-A)	10	94	88	22	—
増減率 (%)	0.2	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 22 年 12 月期)	4,987	△283	△286	△312	△3,603.87

2. 修正の理由

当連結会計年度における当社グループを取り巻く事業環境は、東日本大震災の影響により落ち込んだ経済活動に回復の兆しが見られるものの、依然として不透明な状況であり、企業の情報化投資抑制の動きも継続しています。このような中、当社グループでは、引き続き高い市場成長が継続しているクラウドコンピューティング^{(*)1}や、従来からの強みであるオープンソースソフトウェア^{(*)2}に関連する領域での活動強化、及び徹底したコスト削減を推進してきました。

このような中、当連結会計年度は、「LifeKeeper」^{(*)3}が想定には届かない見込みである一方、「Red Hat Enterprise Linux」^{(*)4}は堅調に推移しました。また、「SIOS Integration for Google Apps」^{(*)5}を始めとするクラウド分野の製品・サービス、MFP 関連ソリューション^{(*)6}等も、ほぼ想定通りの推移となりました。これらにより、売上高は 5,110 百万円となる見込みです。

売上原価や販売費及び一般管理費においては、受託開発における不採算案件が第 2 四半期までの売上原価の増加要因となったものの、その他のコストにおける継続的な削減努力が、損失幅の縮小に寄与したことにより、営業損失は 155 百万円に、経常損失は 161 百万円にそれぞれ修正します。

また、当社が保有する投資有価証券のうち、実質価額が著しく下落しその回復が困難であると認められたものについて、減損処理による投資有価証券評価損 46 百万円を特別損失として計上すること等により、当期純損失は 247 百万円となる見込みです。

3. 特別損失の内容

当社が保有する投資有価証券のうち、実質価額が著しく下落しその回復が困難であると認められたものについて、平成 23 年 12 月期の連結決算及び個別決算において、減損処理による投資有価証券評価損 46 百万円を計上することとしました。

また、当社が保有する関係会社株式のうち、連結子会社である米国 SIOS Technology Corp. の株式について、同社の財政状態や経営成績を評価した結果、平成 23 年 12 月期の個別決算において、減損処理を行う必要が生じました。これに伴う関係会社株式評価損の計上額は、円高による為替影響もあり、1,029 百万円となります。同じく連結子会社である賽欧思（北京）科技有限公司の株式についても、同様の評価を行った結果、保守性の観点から関係会社投資損失引当金繰入額 39 百万円を計上することとしました。

なお、これらの特別損失のうち、関係会社株式評価損及び関係会社投資損失引当金繰入額については、連結上は相殺消去されるため、連結決算に与える影響はありません。

(ご参考) 平成 23 年 12 月期における特別損失の内容と金額

	連結	個別
投資有価証券評価損	46 百万円	46 百万円
関係会社株式評価損	—	1,029 百万円
関係会社投資損失引当金繰入額	—	39 百万円
計	46 百万円	1,116 百万円

- (*1) クラウドコンピューティング
コンピュータ処理をネットワーク（通常はインターネット）経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。
- (*2) オープンソースソフトウェア
ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
- (*3) LifeKeeper
米国子会社 SIOS Technology Corp.（旧 SteelEye Technology, Inc.）の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担う HA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。
- (*4) Red Hat Enterprise Linux
世界をリードするオープンソリューションプロバイダー Red Hat, Inc. が開発する Linux OS。
- (*5) SIOS Integration for Google Apps
Google が提供する、メール、インスタントメッセージ、スケジュール管理、ワープロ・表計算等をパッケージにしたホスティング型アプリケーションサービス Google Apps とお客様の既存の情報システムを直接連携させるサービス。
- (*6) MFP 関連ソリューション
平成 21 年から提供を開始した MFP (Multi Function Peripheral の略、1 台でプリンタ、スキャナー、コピー、FAX などの機能を兼ねる機器など複数の機能を搭載した複合的な周辺機器のこと。) 上で操作できる文書管理ソフト「Quick スキャン」等。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。また、上記金額は百万円未満切捨てで表記しており、増減率は円単位で計算した後に小数点以下第 2 位四捨五入で表記しています。

以上